

PMR 資格試験への挑戦 2

価値提供について考える機会

杉本 匡嗣

■ 受験動機

IT システムの開発の仕事をしていると、つい企業や事業が生み出す価値を忘れてしまいます。事業会社で仕事をするようになって改めてその事業での価値獲得や顧客への価値提供について考えさせられました。

プログラムマネジメントは価値に重きを置いているものと理解しています。プロジェクトばかりで近視眼的にものをとらえるのではなく事業として(戦略として)の視点が必要であると考え PMR の受験に至りました。

■ 受験の感想

PMS 合格後すぐに PMR を受験したのですが、如何せんガイドブックが分厚く一度精読するのにとても時間が掛かります。これは何よりも苦労した点です。

PMR 試験ではガイドブックをベースにするものの自身の経験や考え、個人特性なども含めた総合力で挑まなければなりません。試験官からも妥協なくシビアな質問を頂戴します。PMR に合格したいま、PMR としての資質を更に磨き込む必要があると感じています。

■ PMR としての展望

大企業にはプロジェクトマネジメントの考え方は必須ですが、中小企業にとっても有用であると考えています。日本の多くの経営者やビジネスパーソンが P2M に触れ、P2M を実践していく世界を実現するために何らか役に立ちたいと思っています。



【プロフィール】 杉本 匡嗣（すぎもと ただつぐ）

コンビニチェーンの情報システム部門に勤務

IT 関連の職について四半世紀ほどになります。

プログラマーからはじまり、最近ではプロジェクトマネジメントが主な役割です。

キャリアの大半が小売系の情報システムですが、ローコード/ノーコードツールの日本展開プロジェクトに参画した経験や、オープンイノベーションに関する業務に従事した経験もあります。

PMR の他に、IT コーディネータ/インストラクター、LEGO®SERIOUS PLAY®トレーニング修了認定ファシリテータ、CSM、G 検定、DS 検定、認定ロス対策士などを取得しています。